

時代装束を着て行幸行列を観覧しよう ～寛永行幸四百年祭「装束観覧席」、5月1日から募集開始～

- 寛永行幸四百年祭実行委員会（事務局：京都府）では、開催中の「寛永行幸四百年祭」のメインイベントとして、12月6日に当時の行幸行列を再現します。
- 当日は行列に加えその観衆も再現することとしており、観衆役となる「装束観覧席」への参加者を5月1日から募集しますので、周知をお願いします。

行幸行列の様子を伝える「二条城行幸図屏風」（泉屋博古館蔵）には、思い思いの装束で、沿道で行列を見物する大勢の観衆が描かれています。

行幸行列の再現イベントでは、その様子も再現するため、京都御苑に設置する特別観覧席にて、時代装束を着用の上「観衆役」として行幸行列を御覧いただきます。

<「装束観覧席」参加者募集について>

- 1 募集期間 令和8年5月1日（金）～ ※定員に達し次第終了
- 2 募集コース・料金

コース・金額	装束のイメージ	内容
A コース (30 万円)		今回のイベントのために「二条城行幸図屏風」を基に詠えた装束（かつら・メイク付）
B コース (3 万円)		当時の風俗をイメージした装束
C コース (1 万円)		「二条城行幸図屏風」に描かれた観衆や当時の風俗をイメージした、お持ちの装束で参加いただきます

※A・Bコースの装束はレンタル

- 3 応募方法 公式ホームページに後日掲載（<https://kaneigyoko400.jp/>）
- 4 定 員 200名程度。※衣装の準備の都合上変動する場合があります。
- 5 その他
 - ・行列イベント前後も、装束姿のまま街中を散策いただけます。
 - ・行列到着後に二条城内で開催する到着式に御参加いただけます。
 - 二の丸御殿にも御入場いただけます。
 - ・記念写真を進呈いたします。

<参考1 寛永行幸四百年祭 行幸行列再現イベントについて>

- (1) 日時 令和8年12月6日(日) 12時30分頃～15時30分頃
※出発前、到着後にそれぞれ出発式、到着式を実施
※小雨決行・雨天中止(雨天時は装束着用の上、屋内で代替実施)
- (2) 内容 ・行幸行列や雅楽演奏を約330人規模で再現。
(行列は中宮和子行列、将軍家光行列、後水尾天皇行列で構成)
・観覧席では、装束等を着た参加者が時代絵巻を演出【今回募集】
- (3) ルート 京都御苑～二条城東大手門(約3km)

(4) スケジュール

時期	事項	主な内容
令和7年12月6日 ～令和8年3月31日	先行エントリー募集(無料)	応募者には「先行抽選」の参加資格を付与
令和8年4月6日 ～5月8日	行列参加者の先行抽選受付	先行エントリーの応募者限定で優先的に配役を決める抽選
令和8年7月	行列参加者の本エントリー ・本抽選	配役を決める抽選を行い、配役を確定
令和8年7月～11月	準備期間	行列参加者を対象に礼法・作法研修等
令和8年12月6日	行幸行列再現イベント実施	いよいよ本番

(5) 再現行列への参加について

①概要

現在、先行エントリーへの応募者(約1,700人)を対象に優先的に配役を決める先行抽選の受付を実施中。一般参加者は7月頃募集予定。

②募集人数

200名程度

③参加費

配役に応じて1万円、3万円、5万円、10万円

※配役等の詳細は公式ホームページ参照(<https://kaneigyoko400.jp/>)

(6) 主催等

主催：寛永行幸四百年祭実行委員会(文化庁連携プラットフォーム内)

共催：一般社団法人Living History KYOTO

【参考2 用語解説等】

○寛永行幸

寛永3年(1626年)9月に大御所・徳川秀忠と3代将軍・徳川家光の招きに応じた後水尾天皇による二条城への行幸。当時最大級のイベントであり、書物や絵巻などで記録に残され、後世に語り継がれてきた。

○「二条城行幸図屏風」

江戸時代（京都市指定文化財 泉屋博古館蔵）

行幸の行列とそれを見物する多くの民衆が描かれている。



○寛永行幸四百年祭実行委員会

「寛永行幸四百年祭」の実施を通じた「寛永行幸」及び「寛永文化」の普及・啓発や二条城の新たなブランドの確立等により、京都をはじめとする日本の伝統文化の継承や担い手の育成、伝統産業の振興等をつなげ、「文化と経済の好循環」を実現し、その全国のモデルケースを創出することを目的とし、文化庁連携プラットフォーム内で組織した団体。令和7年度は、各種の機運醸成事業を実施し、本番となる令和8年度は、行幸行列の再現イベントや、二条城での各種展示・企画等を実施する。

○文化庁連携プラットフォーム

文化庁京都移転の意義の実現に向けて、文化庁との連携による新たな文化政策の展開や、世界に向けた日本文化の発信等を行政、経済界、文化団体等が一体となって展開し、日本文化の国際的な価値を高めることを目的とし組織した団体。

【本報道発表に関するお問合せ】

文化庁連携プラットフォーム（京都府文化政策室内）

文化生活部副部長兼文化政策室長 梅原 TEL 075-414-4215

文化政策室 企画参事 須田 TEL 075-414-5071

